



2012年3月期(第48期) 決算説明会

2012年5月25日

サンコーテクノ株式会社

JASDAQ

証券コード: 3435



会社概要

社 名 : サンコーテクノ株式会社
 代 表 者 : 洞下 英人(ほらげ ひでと)
 資 本 金 : 768百万円
 国 内 拠 点 : 全国20拠点
 従 業 員 数 : 連結554名 単体308名(2012年3月31日現在)

セグメント(48期)

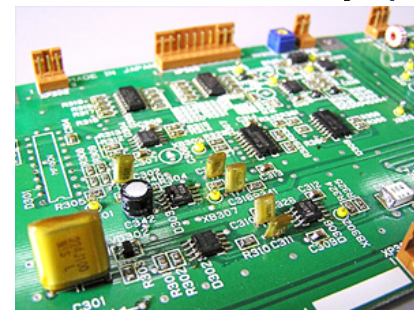
ファスニング事業



リニューアル事業



センサー事業



本社:千葉県流山市東初石6丁目183-1



SFT子会社(2011年8月設立)
SANKO FASTEM(VIETNAM)LTD.
SFT製品の国内販売

国内連結子会社(2004年9月)
株式会社IKK
／本社:静岡県沼津市
電動油圧工具製品の国内外販売

S.F.V
ハノイ

国内連結子会社(2003年7月)
株式会社スイコー
／本社:千葉県流山市
電子基盤・センサー製品の製造・販売

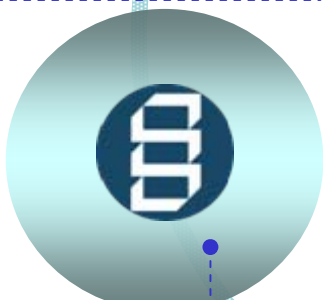


DIAMOND



海外連結子会社(1988年7月設立)
SANKO FASTEM(THAILAND)LTD.
STE主製品の生産・国内販売

国内連結子会社(2006年1月)
ISMインタナショナル(株)
／本社:千葉県流山市
STE関連商品のEU輸入・ネット販売



海外連結子会社(1988年1月設立)
三幸商事顧問股分商事有限公司
STE輸入製品の発掘・提案

持分法非適用会社(2008年1月)
株式会社イーオプティマイズ／東京都台東区
IT関連システム供給



持分法適用会社(2002年3月)
株式会社サンオー／千葉県流山市
STE主製品の組付

**シナジーを追求し、
事業の裾野を拡大**



2012年3月期 業績報告



2011年度 トピックス①

東日本大震災発生
2011. 3. 11



最大震度： 7
マグニチュード： 9.0

死者： 16,140 人
行方不明者： 3,123 人
倒壊家屋 全壊： 128,582 棟
半壊： 244,031 棟
一部損壊： 69,882 棟
(消防庁より)

2011年度 トピックス②

タイ大洪水発生 2011. 10~12



時期: 2011年10月~12月
水没面積: 45,023km²
(九州・沖縄総面積と同等)
死者: 668人





タイ大洪水発生

S. F. Tスタッフの迅速な対応



最高水位 : 89cm

SFTスタッフの対応により、被害は最小限に抑えられ、アッセンブリも早期再開された





2011年度 トピックス③ 新体制・新設備

■ サンコーファステム・ベトナム設立(2011年11月操業開始)



■ S.F.T第4工場完成

(2012年3月竣工)

新設備導入





2011年度 トピックス④ 新製品

■ ディー・アーススクリュー

(9月)



■ テクノテスターKT-20

(9月)



■ アルコール測定器TR-1

(7月)





2012年3月期 業績ハイライト(連結)

(百万円)	※ 2011年3月期 実績	2012年3月期 計画	2012年3月期 実績	前年同期比	計画比
売上高	13,626	14,500	13,851	101.7%	95.5%
売上総利益	4,067	4,240	4,241	104.3%	100.0%
販売管理費	3,593	3,760	3,658	101.8%	97.3%
営業利益	473	480	583	123.2%	121.5%
経常利益	443	460	583	131.4%	126.9%
当期純利益	211	245	285	135.3%	116.5%

- ・公共事業全般が低調に推移
- ・東北地方を中心とした一部被災地の復旧・復興需要が下支えに

※2011年3月期有価証券報告書、決算短信に一部修正あり。(配付資料参照)



売上高構成比(セグメント間含む)

2011年3月期

2012年3月期

センサー事業

センサー事業

5%

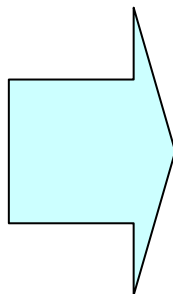
4%

リニューア
ル事業
19%

リニューア
ル事業
18%

ファスニング
事業
76%

ファスニング
事業
78%





ファスニング事業

(百万円)	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	前期比
売上高	10,419	10,817	103.8%
セグメント利益	475	583	122.7%



◇プラス要因

- ・主力製品であるアンカー(特に金属系アンカー)が好調に推移
- ・主力製品の原価低減による利益確保

◆マイナス要因

- ・耐震関連製品の伸び悩み(特に中四国・九州地域で大きく影響)
- ・海外販売(IKK製品)が不振

リニューアル事業

(百万円)	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	前期比
売上高	2,612	2,559	98.0%
セグメント損失	11	▲0	-



◇プラス要因

- ・FRP関連製品の大幅な出荷増
- ・外壁補修関連製品や二重床関連商材の売上が好調に推移
- ・太陽光関連製品(あと基礎アンカー、ディー・アーススクリュー)の販売増

◆マイナス要因

- ・新規工事受注減
- ・新市場への人的資源の注力や販売促進活動による販管費増



センサー事業

(百万円)	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	前期比
売上高	695	568	81.8%
セグメント損失	▲13	▲22	-



◇プラス要因

- ・買換えに伴う切換えを推進
- ・新幹線(E5はやぶさ)に使用する基板の上乗せ受注発生

◆マイナス要因

- ・アルコール測定器の需要が一巡、受注減へ(下半期)
- ・医療機器向けの電子基板関連製品が低調に推移(円高による輸出減の影響)



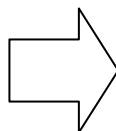
中期経営戦略



中期ビジョンの進捗・計画

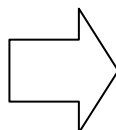
PLAN2014 チャレンジ35

◆売上年間5%増
2014年に売上高200億円



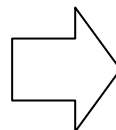
2011年3月期	: 13,626百万円	前期比: 103.7%
2012年3月期	: 13,851百万円	前期比: 101.7%
2013年3月期計画	: 14,950百万円	7.9%増

◆STE新製品売上5%増
2014年に34億円
※サンコーテクノ単体



2011年3月期	: 1,008百万円	前期比: 236.7%
2012年3月期	: 1,082百万円	前期比: 107.3%
2013年3月期計画	: 1,600百万円	47.9%増

◆2014年に営業利益率5%確保



2011年3月期	: 473百万円	営業利益率: 3.5%
2012年3月期	: 583百万円	営業利益率: 4.2%
2013年3月期計画	: 660百万円	営業利益率: 4.4%



STG中期計画(連結)

(百万円)	2012年3月期 実績	2013年3月期		2014年3月期		2015年3月期	
		計画	前期比	計画	前期比	計画	前期比
売上高	13,851	14,950	107.9%	17,500	117.1%	20,000	114.3%
売上総利益	4,241	4,500	106.1%	5,000	111.1%	5,800	116.0%
販売管理費	3,658	3,840	105.0%	4,300	112.0%	4,800	111.6%
			利益率		利益率		利益率
営業利益	583	660	4.4%	700	4.0%	1,000	5.0%
経常利益	583	600	4.0%	700	4.0%	1,000	5.0%
当期純利益	285	350	2.3%	400	2.3%	580	2.9%



2013年3月期セグメント別計画(連結)

セグメント別	(百万円)	2012年3月期 実績	2013年3月期 計画	前期比
ファスニング事業	売上高	10,817	11,548	106.8%
	セグメント利益	583	569	97.5%
リニューアル事業	売上高	2,559	2,790	109.0%
	セグメント利益	▲0	50	-
センサー事業	売上高	568	693	121.8%
	セグメント利益	▲22	15	-
セグメント間消去	売上高	▲93	▲81	-
	セグメント利益	23	26	-
合計	売上高	13,851	14,950	107.9%
	セグメント利益	583	660	113.2%

2013年3月期 環境分野への取組み①

当社独自設計による工法開発

「ダイレクトアース工法」

「ダイレクトスラブ工法」

特 長

- 工程簡略化 コンクリートの打設不要
- 工期短縮 施工後すぐに架台の設置可能
- コンクリート打設工法に比べ廃材の発生が少なく環境負荷の低減につながる



ディー・アーススクリュー
「ダイレクトアース工法」



あと基礎アンカー

「ダイレクトスラブ工法」

再生可能エネルギーの普及促進という明確なニーズに即応



環境分野への取組み「ダイレクトアース工法」

・2013年3月期目標金額 4億円(材工)

スピード施工

- ▶ コンクリート打設不要だから **工程簡略化**
- ▶ 施工後すぐに架台設置可能だから **工期短縮**

ダイレクトアース工法



従来の工法(コンクリート基礎)



ディー・アーススクリュー

安全・安心 信頼

エコロジー

「脱コンクリート基礎」でリデュース・リユース

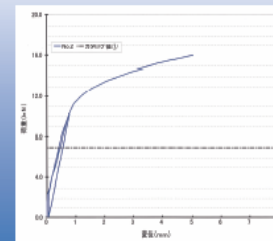
- ▶ **リデュース**
コンクリート打設で発生するLCCO2を削減
- ▶ **リユース**
撤去・原状復帰・再利用が可能



原状回復(イメージ)

安全・安心・信頼のサポート

▶ 安全な設計のために、事前に現地での引張試験が可能



環境分野への取組み「ダイレクトアース工法」

・施工から確認試験までのシステム提案

確認試験



N値測定



引張試験

施工



墨だし



下孔



打込み





環境分野への取組み「ダイレクトアース工法」

・主な野立てソーラー引合い物件

地域	規模	予定使用本数
千葉県君津市	約1.9Mw	約2400本
高知県四万十市	約1.0Mw	約1250本
宮城県某所	約2.1Mw	約2800本
鹿児島県某所	約1.3Mw	約1800本
その他(約55件)	約122.1Mw	約101,750本
合計	約128.4Mw	約110,000本

2012年度 安全・安心分野への取組み

各鉄道事業者

首都圏直下地震などに備えた耐震補強対策

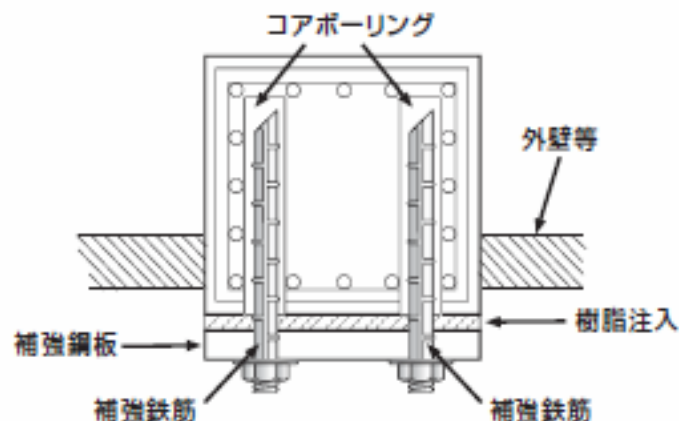
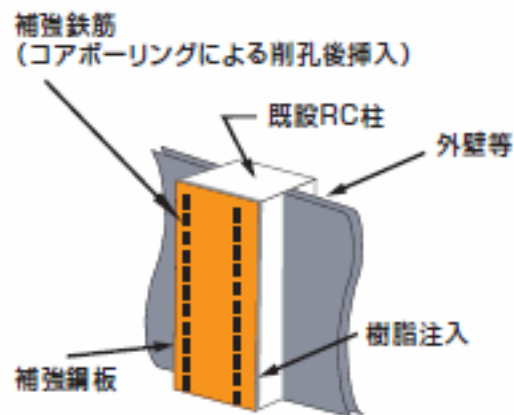
2013年3月期 約1,000億円

(新幹線、在来線の高架橋の柱1万5千本強を5年以内補強)

※3月7日(水)付「日本経済新聞」3面より抜粋



一面補強工法のイメージ



一面補強工法

2012年度 安全・安心分野への取組み

文部科学省

公立学校施設の耐震化及び防災機能強化等

平成24年度予算(案) 1,246億円(前年度 805億円)

(公立小中学校 今後約2万3千棟の耐震化が必要)

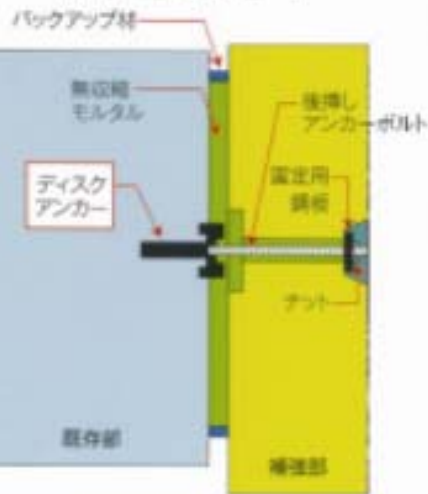
ディスクアンカー

一体型



※文部科学省「公立学校施設の耐震化及び防災機能の強化等」より抜粋

補強部の接合イメージ



Masterフレーム工法

2012年度 海外への取組み

中期(2010-2014)海外戦略

- ・製造のコストダウン推進

- ・新興国の経済成長に伴った、
タイを中心としたアジア展開

⇒あと施工アンカーのシステム販売

(日本の経験を活かした技術の提案)





ご清聴ありがとうございました。

- 本資料はサンコーテクノ株式会社の事業及び業界動向についてのサンコーテクノ株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、2012年5月25日現在において利用可能な情報に基づいてサンコーテクノ株式会社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

サンコーテクノ株式会社